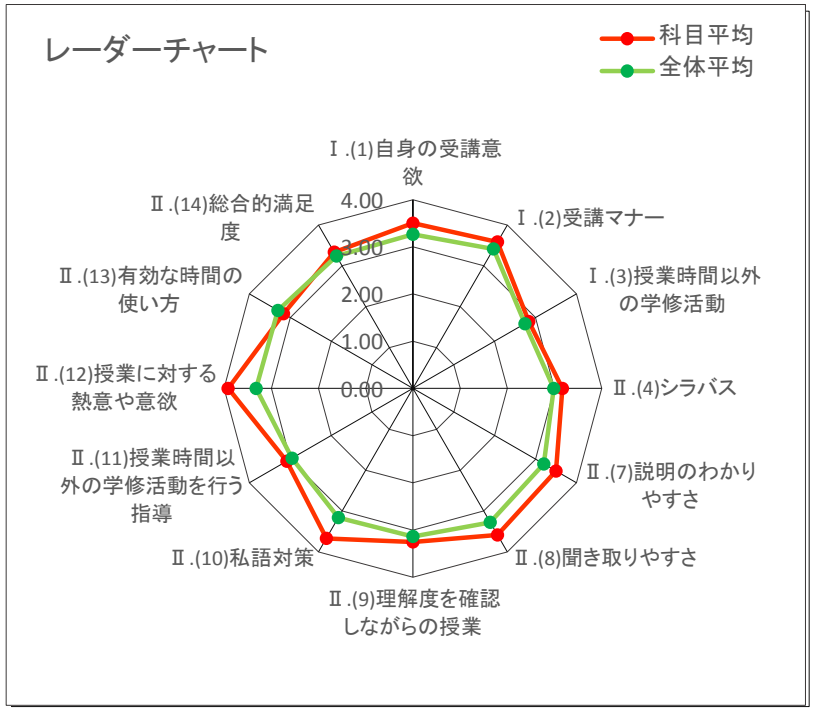
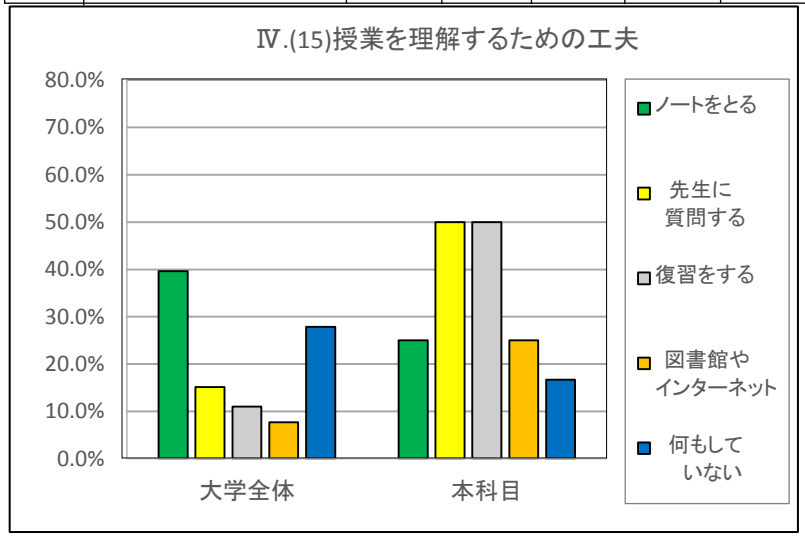
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.50	3.26
	Ⅰ.(2)	3.58	3.41
	Ⅰ.(3)	2.83	2.74
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.17	2.98
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.50	3.20
	Ⅱ.(8)	3.58	3.27
	Ⅱ.(9)	3.25	3.13
	Ⅱ.(10)	3.67	3.16
	Ⅱ.(11)	3.08	2.96
	Ⅱ.(12)	3.92	3.32
	Ⅱ.(13)	3.17	3.30
満足度	Ⅱ.(14)	3.33	3.24

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	16.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.31	3.14
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.42	3.17
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.33	3.24

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	41302/41352
科目名	人間関係の心理学
教員名	

①授業計画の達成度について

●授業の目的を認識させた上で、授業計画に従って授業運営を行っているか。（設問4）　15回の授業の中で、途中野球部の応援に東京に行った学生がおり、以後の授業で参加者が揃わず、実習の内容を理解させることが難しかった。このため、予定していた内容を変更して、VTRにしたこともあった。従って、10点満点で、7点であった。
●学習の到達目標、および難易度は適切だといえるか。（設問5、6）　アンケートの結果では、学生が理解できるような内容になっていたと思われる。

②授業の進め方について

●声や言葉、説明は明瞭であるか。（設問7、8）　201教室にわずか16名で授業した。少ない人数であったので、机間指導を行う機会が多かったので、当然話しかけることになる。これを繰り返していたので自ずから、応答がなされることになった。
●学生の授業満足度は高いといえるか。（設問13）　アンケートの結果、本年度は、前の授業の要点を確実にするために小テストを8回実施した。授業内容で、必須のキーワードを5問出題し、各問2点配点し、定期テストには、その中から80%出題した。無論、事前に学生へのアナウンスを行った。また、実習の機会が4回あった。この場合は、翌週提出のレポートを課した。合計12回の授業については、何らかの形で授業のフィードバックを行ったことになる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

●やはり、問いかけることに尽きると思われる。学生の考えていることを教員の側が察知して応答していくことが必要だと思われる。これは、ソクラテスの問いかけだと思う。その意味では、授業でのやりとりが学生との間にあったことがよかったと思う。
しかし、今後の課題もある。レーダーチャートを見ると、問13　では、学生に対する課題などの工夫をする必要があると思われる。やはり、読書をすることが少ないと考えられるので、授業の初めに、課題図書を与えて、これを元にして、14，15回目の授業で討論会をしてはどうかと思っている。

奈良学園大学